

奥会津編み組細工

会津木綿

木綿平織の堅牢な織物。厚みがありふっくらとした質感と一般的な木綿平織に比べて縮みにくい性質から、古くから日常着として広く着用されていました。かつては紺地に白い縞を織り出すものが一般的でしたが、現在は赤や緑など様々な色の縞柄が織られています。



横長花結びバック 230,000円 [矢部晋也]*

奥会津編み組細工は、ヒロ口、山ブドウやマタタビなどの植物を素材とする編み組細工で、堅牢で素朴な手編みの良さが特徴です。福島県大沼郡三島町が主な産地で、山間地における積雪期の手仕事として日々の生活に用いる籠やザルなどが作られてきました。いま地域に住む高齢者を中心にひとつひとつ丁寧に製作され、その技と伝統を後世に伝えていきます。



マタタビの手提げかご 大 35,000円 / 小 30,000円 [工房木の美]

会津ブランドものづくりフェアとは

会津塗などの会津地域の伝統産業や最新の技術をつかったものづくり企業などのPRを中心に、会津の匠たちが集まる「会津ブランドものづくりフェア」を毎年10月に会津若松市のまちなかで開催しています。期間中には2大イベントである「あいづ伝統工芸フェア」や「会津食と技の祭典」のほか、様々なイベントが開催され、匠の技や地元のおいしいものに出会えるほか、会津の豊かな伝統と未来へ継承される新しいものづくりを体験することができるイベントです。

主催 会津ブランドものづくりフェア実行委員会

TEL.0242-39-1252 <https://aizu-monodukuri.localinfo.jp/>

▼ フェアの様子



展示・販売



体験



地域食文化の紹介・販売

*印は参考商品。今回は販売いたしません。